

防災週間
8/30(土)
～9/5(金)

災害に強いまち 大津へ 9月1日は「防災の日」

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。

この期間を、市民の皆様の自主防災意識の高揚を図り、災害への備えや行動を再確認する機会と捉えるとともに、自主防災組織の育成指導 及び 地域自主防災組織の設立を促進することで、地域防災力の向上を図りましょう。

子ども達に伝える！

災害に備えた「行動目標」と「防災ことば」

年齢層に見合った「行動目標」

子どもの年齢層に見合った行動目標により、
災いをやり過ごす知恵を伝えます

- ・就学前児 《安全行動の基礎》
“先生（大人）の言うことをよく聞き、
自分の身を守ることができる”
- ・小学校低学年（小学1～3年生） 《自分の安全》
“指示がなくても、身の安全が取れる”
- ・小学校高学年（小学4～6年生） 《身の回り》
“小さな子どもやお年寄りを気遣うことができ、
先生（大人）に協力できる”
- ・中学生 《社会全体》
“被害を小さくするための活動が自発的にでき、
学校や地域の力になる”



消防局では年齢層に見合った行動等を取り決め、これを伝えること、また地域で防災教育に取り組んでいただく環境を整えていくことを重要な課題とし、子どもの発達段階に応じた防災教育、「子どもに伝える！災害に備えた『行動目標』と『防災ことば』」の普及を進めております。

年齢に応じて使う「防災ことば」

『命を守る、お・は・し・も・ち、お・お・つ・し・た・ち』

幼稚園や小学校などで行われる避難訓練や地域で行われる防災訓練等で、統一した『防災ことば』を伝えます。

・就学前児 『命を守る、お・は・し』
おさない、はしらない、しゃべらない

・小学校低学年（小学1～3年生）『命を守る、お・は・し・も・ち』
お・は・し + もどらない、ちがつかない

・小学校高学年（小学4～6年生）『命を守る、お・は・し・も・ち、お・お・つ・し』
お・は・し・も・ち + おち着いて、おとなに、つたえて、しじ（指示）に協力

・中学生 『命を守る、お・は・し・も・ち、お・お・つ・し・た・ち』
お・は・し・も・ち、お・お・つ・し + たすけ合おう、ちいき（地域）の力に



お問い合わせは最寄りの消防署まで

北消防署
中消防署
南消防署
東消防署

Tel572-0119
Tel525-0119
Tel533-0119
Tel543-0119

志賀分署
西分署
南郷出張所
予防課

Tel592-0119
Tel579-0119
Tel537-0119
Tel525-9902

大地震発生！その時に備えて

大津市消防局では、地域自主防災活動の活性化を図る目的で、「大津版災害時ファーストコンタクト」～出火と余震による被害を防ぎ、助けられる人は今助ける～を運用しています。

この訓練は、大津市消防局が市内の自主防災会向けに考案した、二次的な被害の防止など安全管理の目線を取り入れた、チームとして活動する実災害対応型の訓練です。

大地震により倒壊家屋が発生、余震の発生が予想される中、地震によりダメージを受けた建物から人を救出するためには・・・

詳しくは  **YouTube** で検索、視聴ください。



できていますか？身近な地震対策

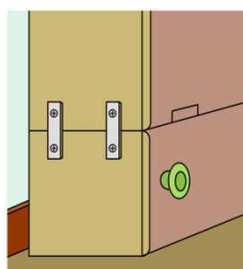
防災週間期間中に家具類の転倒・落下防止措置を実施しましょう

家具類の転倒や落下により、直接的に怪我をするほか、つまずいて転んだり、割れたガラスを踏む、避難経路をふさぐ等、いろいろな障害が発生します。

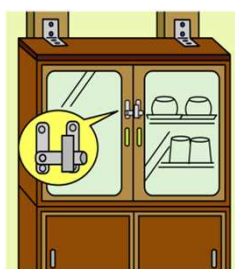
下のイラストを参考に、家具の転倒・落下防止の措置を実施しましょう。



ポール式器具



家具連結器具



開き戸ストッパー



ガラス飛散防止フィルム

知っていますか？感震ブレーカー

地震と電気火災

東日本大震災における本震による火災、全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数の54%が電気関係の出火でした。

東日本大震災における火災の発生原因



感震ブレーカーって？

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

主な感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

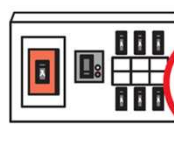
費用：約5～8万円(標準的なもの)
※電気工事が必要



分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。
※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

費用：約2万円
※電気工事が必要

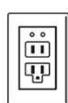


コンセントタイプ

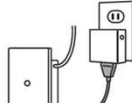
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

費用：約5千円～2万円程度

(埋込型)
壁面などに取り付けて使うもの
※電気工事が必要



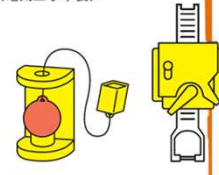
(タップ型)
既存のコンセントに差し込んで使うもの
※電気工事が不要



簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約2～4千円程度
※ホームセンターや家電量販店で購入可能(電気工事不要)



おもり玉式

バネ式

注意点と今すぐできる対策

感震ブレーカーの設置に際しては、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取組むことが必要です。



今すぐ出来る対策は



地震等で自宅から避難する際にブレーカーを落とすことです。